

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
平川 公義
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
齊藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

この編集後記を書いているのは、東日本大震災が発生してちょうど1カ月の時点である。東京でもまだ連日のように、しかもかなり激しい余震が続き、福島原発の問題も先行きが読めない。さらに夏場には電力不足が予測され、大規模停電回避のために節電策を検討中である。早く諸問題が終息に向かってくれることを祈るばかりである。

さて、本号の扉では筑波大学の松村明教授が「脳神経外科医の養成とリクルート」と題して、日本脳神経外科学会の「卒後臨床研修制度対応委員会」の取り組みを紹介されている。研修医の集まりで手術用顕微鏡を用いての微小縫合の体験コーナーを設けられている。医学生たちも興味をもって参加されているようである。私も以前、高校生の体験教室でマイクロ実習のまねごとをしたことがある。高校生たちには10-0ナイロンを用いた縫合は予想以上に難しかったようである。あらためて自分たちはプロなのだと感じるのと同時に、そのような試練が若者の興味を引き出ししてくれればと感じられた。

リクルートという意味では、最近「JIN-仁-」というタイトルのテレビドラマが放送されている。前作は2年前に放映され、数々の賞を取った高視聴率の番組の完結編である。主人公は脳神経外科医で、幕末にタイムスリップして活躍をする。優秀な脳神経外科医がいるのみでは医療の展開が困難である様を見ると、われわれが高度な医療を提供できるのも、多くの先達の残した知識や技術の積み重ねのおかげなのだということを痛感させられる。そんな刺激が若者のリクルートになればいいと思う。

総説では、慶應義塾大学医学部神経内科の星野先生と鈴木先生が「Branch atheromatous disease (BAD) の病態と治療」について詳しく解説されている。解剖を中心とした脳神経手術手技の欄では、北海道大学の寺坂俊介先生らが、「鞍結節髄膜腫に対する手術到達法の選択：高位か低位か？」と題して、anterior interhemispheric法と拡大蝶形骨洞到達法を比較されている。また、研究論文が2編、「頸動脈内膜剝離術におけるICG蛍光血管撮影を用いたブラーク遠位端の確認とそのpitfall」と「肺癌からの転移性脳腫瘍におけるEGFR遺伝子変異とgefitinibの有効性」が収載されており、本号も大変内容の濃い号となっている。

Neurological Surgery 脳神経外科
(第39巻第6号)

2011年6月10日発行(毎月1回10日発行)

定価 2,730円(本体2,600円+税5%)

2011年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)
冊子のみ 31,800円、冊子+電子版 41,400円、電子版/個人 31,800円、電子版/共有 36,570円

E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID: noge パスワード: noge

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)リーブルテック 電話 (03) 3927-6411

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCOPY <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。